

## 1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

ボランティア活動は、自分の時間や力を人や社会のためにすすんで使い、見返りは求めず「役に立ちたい」という気持ちから行動することであり、安全を第一にして約束と時間を守り、相手を大切にすることを土台にします。

活動の形はさまざまで、町のごみひろいや花だんの水やり、図書館の本ならべや学校行事の手伝いがあります。他にも、お年寄りの話し相手や小さい子への読みきかせも立派な取り組みであり、家のそうじや料理を手伝って家族の負担をへらすことも、れっきとしたボランティアです。

参加先は学校のたよりや地域の広報、しせつの案内などで見つけます。申しこみの前に「いつ・どこで・だれと・何を・どのくらい」を確かめ、動きやすい服とすべりにくいくつ、ぼうし・飲み水・タオル・軍手を用意し、夏は熱中症に気をつけ冬はあたたかくするなど季節の対策も忘れません。

心がまえとして、はじめと終わりに元氣よくあいさつします。目を見ていていねいに話し、分からないことはすぐたずね、勝手に決めずリーダーの指示にしたがい、時間を守ってむりをしないよう体調にも気を配ることが大切です。

写真やネットのマナーも必要で、顔が写る写真は必ずゆるしを得てから使い、住所や電話などの個人情報を出さ内容にしましょう。SNSにのせるときは場所や人が特定されないよう注意し、だれかをきずつけない言葉でよかった点や学びを伝えます。

また「手伝い」はやりすぎないことがコツです。相手が自分でできることまで取り上げると自信をうばってしまうためです。むずかしい所は「いっしょに」行い、「してあげる」より「ともに」の気持ちで進めると安心も自立も生まれます。

チームで動く場面では、役わりをはっきりさせて目標と手順を共有します。作業中は声をかけ合って安全と正確さをたしかめ、終わったら道具を片づけ

場所を来たときよりきれいにし、ほうこく・れんらく・そうだんをこまめに行います。うまくいかなかった点は「次をよくする」視点で話し合います。

続けるコツは「小さく・気軽に・こつこつ」で、年一回の大きな行事だけにたよるより、週一回のごみひろいや毎朝のあいさつ運動を続ける方が町は少しずつ変わります。予定表に書く・友だちと同じ曜日にする・家の人に宣言するなど続けるしくみを作り、日付や場所・やったこと・気づき・次の工夫をノートに記録するとふり返りが力になります。

小学生にもできる計画として、土曜の朝一時間に通学路をそうじして分別ルールを学ぶ「通学路クリーン作戦」。図書室や子ども会で絵本を選び声の大きさを間の取り方を練習して読む「読みきかせ隊」。家で余った食べ物を集め条件を確かめて数を数え礼のカードをそえる「フードドライブ手伝い」などがあり、どれも身近で始めやすい活動です。

災害のときはふだん以上に注意が必要です。むやみに現場へは行かずまず正しい情報を読み専門の人の指示にしたがいます。小学生ならぼきんのよびかけや物資のしわけ、応えんのメッセージ作りなど家や学校でできる形をえらび、安全と健康を最優先にしてください。



(1) 参加前の準備・行動として正しいものを一つ選びなさい。

- ア 動きやすい服・すべりにくいくつ・水を用意し、分らないことはすぐたずねる。  
 イ 参加前の確認は「何を」だけでよく、時間は当日決めればよい。  
 ウ 顔が写る写真は許可はいらず、SNSで自由に共有してよい。  
 エ リーダーの指示より自分の判断を優先し、まず動けばよい。

答え ( )

(2) 最も適切な助詞を語群から選び入れなさい。

SNS「 」のせるときは、場所や人が特定されないよう「 」注意し、顔が写る写真はずるし「 」得てから使います。

語群

に／で／を／へ

(3) 本文の「その方が安心も自立も生まれます。」の方が指す内容として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 「してあげる」より「ともに」の気持ちで、むずかしい所をいっしょに行う進め方  
 イ 年一回の大きな行事だけにたよる進め方  
 ウ リーダーの指示を聞かず、自分だけで決める進め方  
 エ むやみに現場へ行き、まず行動してから考える進め方

答え ( )

(4)

なぜ「手伝いはやりすぎないことがコツ」なのか。本文にもとづき、三十〜四十字で説明しなさい。

~~~~~

~~~~~

(5)

次の表は、三つの活動の実施頻度と3か月後の参加継続率をまとめたものです。表を読み、後の問いに答えなさい。

| 活動         | 実施頻度 | 3か月後の参加継続率 |
|------------|------|------------|
| A：大清掃イベント  | 年1回  | 40%        |
| B：通学路ごみひろい | 週1回  | 78%        |
| C：朝のあいさつ運動 | 毎朝   | 82%        |

① 継続率が最も高いのはどの活動か。一つ選びなさい。

- ア A    イ B    ウ C

答え ( )

② 表の結果と本文の主張が一致する説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 大きな行事にしばらく継続しやすい。  
 イ 小さく気軽にこつこつ続ける活動ほど継続しやすい。  
 ウ 実施頻度が高い活動ほど、かならず継続率は下がる。

答え ( )

(1) 参加前の準備・行動として正しいものを一つ選びなさい。

- ア 動きやすい服・すべりにくいくつ・水を用意し、分らないことはすぐたずねる。
- イ 参加前の確認は「何を」だけでよく、時間は当日決めればよい。
- ウ 顔が写る写真は許可はいらず、SNSで自由に共有してよい。
- エ リーダーの指示より自分の判断を優先し、まず動けばよい。

答え (ア)

(2) 最も適切な助詞を語群から選び入れなさい。

SNS「**に**」のせるときは、場所や人が特定されないよう「**に**」注意し、顔が写る写真**は**ゆるし「**を**」得てから使います。

語群

に／で／を／へ

(3) 本文の「その方が安心も自立も生まれます。」の**そ**の方が指す内容として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 「してあげる」より「ともに」の気持ちで、むずかしい所をいっしょに行う進め方
- イ 年一回の大きな行事だけにたよる進め方
- ウ リーダーの指示を聞かず、自分だけで決める進め方
- エ むやみに現場へ行き、まず行動してから考える進め方

答え (ア)

(4)

なぜ「手伝いはやりすぎないことがコツ」なのか。本文にもとづき、三十〜四十字で説明しなさい。

解答例  
相手の自立をうばわず安心を保ち、できる力を自分で伸ばせるから。

(5)

次の表は、三つの活動の実施頻度と3か月後の参加継続率をまとめたものです。表を読み、後の問いに答えなさい。

| 活動         | 実施頻度 | 3か月後の参加継続率 |
|------------|------|------------|
| A：大清掃イベント  | 年1回  | 40%        |
| B：通学路ごみひろい | 週1回  | 78%        |
| C：朝のあいさつ運動 | 毎朝   | 82%        |

① 継続率が最も高いのはどの活動か。一つ選びなさい。

- ア A
- イ B
- ウ C

答え (ウ)

② 表の結果と本文の主張が一致する説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア 大きな行事にしばらく継続しやすい。
- イ 小さく気軽にこつこつ続ける活動ほど継続しやすい。
- ウ 実施頻度が高い活動ほど、かならず継続率は下がる。

答え (イ)